

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふりーくらぶ千本教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援に注力し、勉強を通して自己肯定感を高めている。	個別にパーテーションを設置して学習に集中できる環境を構築している。また、学習内容についても特性や得手不得手、ニーズ等を汲み取り、一人ひとりにカリキュラムを提供している。	経年テストや通知表など、保護者も積極的に学習状況の資料を提供してくれるので、分析・カリキュラム反映等にも一層力を入れニーズにお応えしていく。
2	人数分のパソコンを設置し、プログラミングやパソコン操作を通して実用スキルの土台を身につけている。	検定へのチャレンジやゲーム制作、マウス操作練習・タイピングなど、一人ひとりのステージに合わせて楽しみながらパソコンに慣れ親しんでもらっている。	パソコンでできることは無限にある分、体系的に力を積み上げることが可視化しづらかったり、本人の興味関心が先行し過ぎてしまうことがある。スタッフ側の視点で狙いを持った内容を提供していく。
3	余暇活動の中で児童同士のコミュニケーションを促し、社会の中でいろいろな人と関わっていけるよう訓練している。	学年や学校、趣味嗜好等が異なる児童同士でも仲良く遊べるよう、スタッフが橋渡ししながら輪を広げられるよう支援している。	児童たち同士でやりたいことを一緒に考えるなど、社会性の一環として自主性も育てていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が不十分である。	基本的には事業所のスタッフ・児童で楽しめるプログラムを提供している。	事業所の責任者同士や相談支援つてのつながりを生かし、合同イベント等も検討する。
2	家族支援のうち、保護者同士が関われる機会を提供できていない。	保護者のお悩みやご相談に対しては個別対応がメインで、都度お応えしている。	同じお悩みを持った保護者同士をつなげて不安を和らげてもらったり、うまくいった子育て方法を共有してもらったりするような、保護者会の実施も検討する。
3	訓練やマニュアル等、非常時に備え取り組んだり整備しているものはあるが、十分に認知されていない	毎月の通信紙で活動内容をお伝えしているが、楽しい様子メインのお伝えになっている。	ホームページを構築したので、通信紙ともリンクさせながら積極的に情報発信を行っていく。